



2024年3月期 第3四半期決算説明資料

2024年 2月1日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

- 2024年3月期 第3四半期決算概要 P 1～16
- 2024年3月期 通期業績予想 P 17～20
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 21～39
- ESG関連情報 P 40～42
- 株式の状況・株主還元 P 43～46
- 参考情報 P 47～56
- 熱狂的ファンづくりの取り組み事例 P 57～65



2024年3月期 第3四半期決算概要

業績ハイライト

第3四半期累計(4-12月期)業績

経常利益 **11,798**百万円 (前年同期比 **64.4%増**)

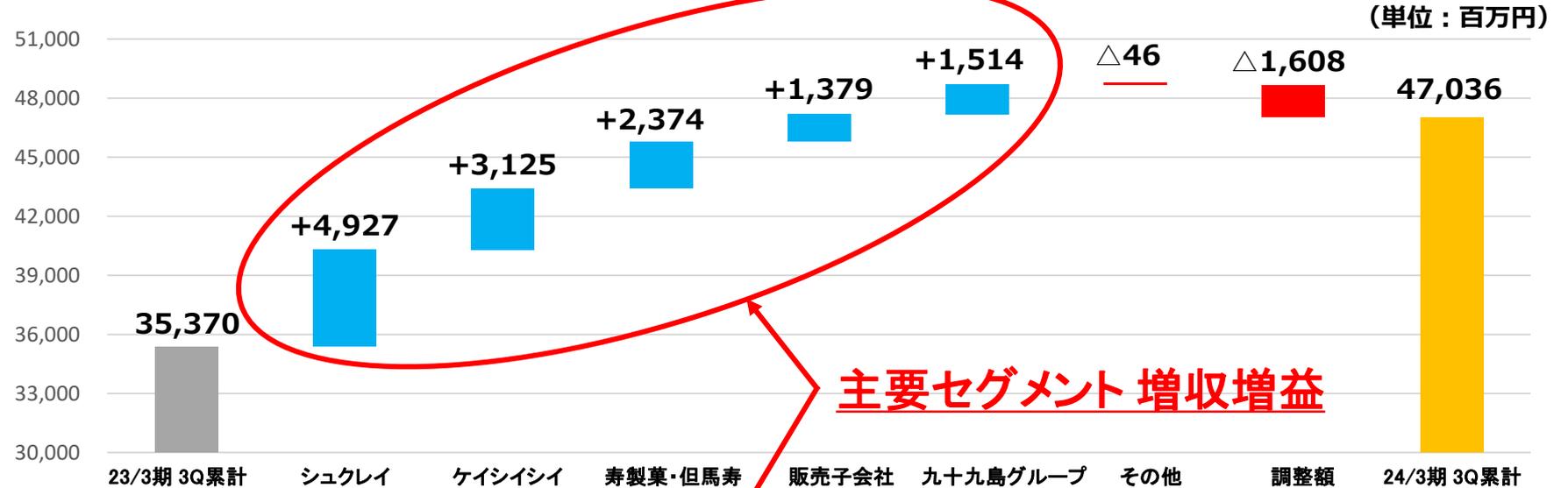
経常利益率 **25.1%** (前年同期比 **4.8ポイント増**)

●新型コロナの行動制限による影響も徐々に薄まり、一昨年10月に開始された全国旅行支援の反動減も見られた中、インバウンド需要の回復も追い風に、積極的な施策遂行が奏功した結果、売上高は33.0%増収、経常利益は64.4%増益、経常利益率が対前年同期比4.8ポイント増加の25.1%となり、収益性が大幅に向上。

●インバウンド売上高(国際線ターミナル免税売上高)は、5,100百万円(20/3期比112.6%)となり、新型コロナ発生前水準を上回る。

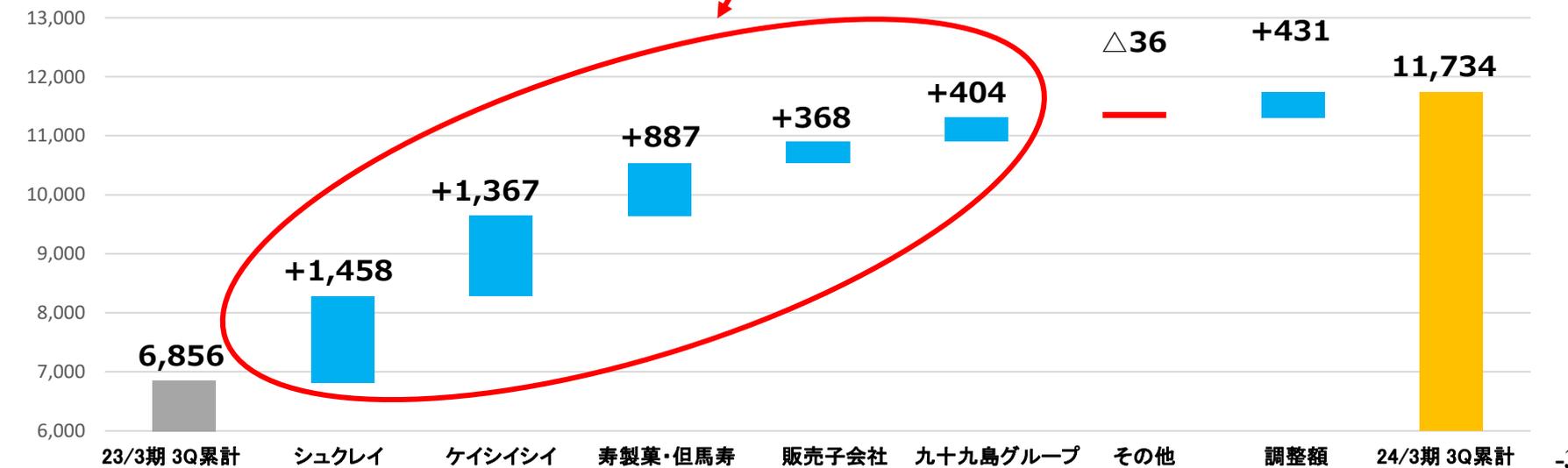
売上高／営業利益増減分析(前年同期比)

(売上高)



主要セグメント 増収増益

(営業利益)



トピックス① 新ブランド「I' m LILY(アイムリリー)」

製造小売型経営へ変革中の九十九島グループが、シュクレイとの共同開発により新ブランドをプロデュース。JR博多駅構内へ出店。



2023年10月6日 新ブランド「I' m LILY(アイムリリー)」JR博多駅構内のいっぴん西通りにオープン

トピックス② 新ブランド「VANI(バニ)」

シュクレイが新ブランド「VANI(バニ)」を阪神百貨店梅田本店の一等地へ出店。
オープンより多くのお客様にご来店いただき、好調なスタート。



2023年11月1日「VANI(バニ) 阪神梅田本店」オープン

ご参考(インバウンド売上)

一昨年の10月から、入国制限が緩和され、主要国際線ターミナルの売店が段階的に再開。
当第3四半期のインバウンド売上は、新型コロナ発生前水準を上回る

【インバウンド売上高(国際線ターミナル免税売上高)】

(百万円)	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
2024年3月期	1,520	1,613	1,967	5,100		
2023年3月期	86	167	640	893	1,085	1,978
2020年3月期	1,502	1,381	1,645	4,528	846	5,375

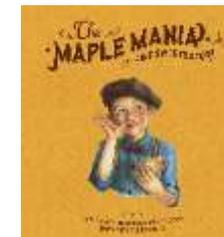


成田空港Fa-So-La TAX FREE AKIHABARA内に展開中の「小樽洋菓子舗LeTAO」「ザ・メープルマニア」

ご参考(海外売上)

海外売上 1,066百万円 前年同期比22.4%減収

オーストラリアは、メルボルン店に続く2号店をシドニーにOPEN



【海外売上高】

(百万円、%)	23年3月期 (3Q累計)	24年3月期 (3Q累計)	増減額	増減率
台湾(注)	459	394	△ 65	△ 14.1
韓国	138	65	△ 73	△ 52.7
シンガポール	355	154	△ 201	△ 56.7
中国	217	125	△ 91	△ 42.1
オーストラリア	97	172	74	76.6
その他	108	156	48	44.2
合計	1,374	1,066	△ 308	△ 22.4

(注)台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。
台湾は現地売上、FCは国内出荷売上＋ロイヤルティ

小樽洋菓子舗ルタオ オーストラリア2号店目となるシドニー店 が2023年12月15日 グランドオープン

2024年3月期 第3四半期(累計)業績(対前年同期)

**対前年同期比 売上高33.0%増、経常利益64.4%増
価格改定及び生産・販売の効率化などにより収益性が向上**

(百万円、%)	前第3四半期累計 (22年4月～12月)		当第3四半期累計 (23年4月～12月)		対前年同期		(参考)前期 (22年4月～23年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	35,370	—	47,036	—	11,666	33.0	50,155	—
売上総利益	21,142	59.8	29,129	61.9	7,987	37.8	30,107	60.0
販売管理費	14,285	40.4	17,395	37.0	3,109	21.8	20,155	40.2
営業利益	6,856	19.4	11,734	24.9	4,878	71.1	9,952	19.8
経常利益	7,177	20.3	11,799	25.1	4,622	64.4	10,296	20.5
四半期(当期)純利益 (注1)	4,711	13.3	7,900	16.8	3,189	67.7	7,018	14.0
EPS(円) (注2)	30.28		50.77		20.49	—	45.10	

(注1) 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(注2) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。
EPS数値につきましては、2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

売上高(販売チャネル別)

人流回復を追い風に、インバウンド需要の回復も加わり
国内卸売が大幅増収

(百万円、%)	前第3四半期累計 (22年4月～12月)		当第3四半期累計 (23年4月～12月)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	35,370	—	47,036	—	11,666	33.0
国内卸売	12,495	35.3	20,128	42.8	7,634	61.1
国内小売	17,461	49.4	21,765	46.3	4,305	24.7
通信販売	4,036	11.4	4,070	8.7	35	0.9
その他	5	0.0	6	0.0	1	15.4
国内計	33,996	96.1	45,970	97.7	11,974	35.2
海外卸売	915	2.6	672	1.4	△ 243	△ 26.5
海外小売	459	1.3	394	0.8	△ 65	△ 14.1
海外計	1,374	3.9	1,066	2.3	△ 308	△ 22.4

(注)国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど/ 国内小売は、主に直営店舗、催事など
海外卸売は、海外FCに対する国内出荷売上+ロイヤルティ/ 海外小売は、台湾子会社の売上/その他は損害保険代理業

セグメント別の業績(対前年同期)

シュクレイを筆頭に、主要セグメント軒並み増収増益

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額	増減率	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額
シュクレイ	14,282	19,209	4,927	34.5	2,815	4,273	1,458
ケイシイシイ	9,693	12,819	3,125	32.2	1,315	2,681	1,367
寿製菓・但馬寿	7,669	10,044	2,374	31.0	1,409	2,296	887
販売子会社	3,897	5,276	1,379	35.4	323	691	368
九十九島グループ	3,326	4,840	1,514	45.5	274	678	404
その他 (注)	515	469	△ 46	△ 8.9	63	27	△ 36
セグメント計	39,382	52,656	13,274	33.7	6,199	10,646	4,447
調整額	△ 4,012	△ 5,620	△ 1,608	40.1	657	1,088	431
合計	35,370	47,036	11,666	33.0	6,856	11,734	4,878

(注)「その他」には、損害保険代理事業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

セグメント別業績の補足説明

<p>シュクレイ</p>	<p>売場ディスプレイの改良、限定商品の発売や超試食販売による販売力の強化、大型催事出店の推進などにより、更なるブランド価値の向上に注力いたしました。また、インバウンド対策では、早期に人員体制を整え、主要国際線ターミナルでの展開強化などに取り組みました。新規出店では、2023年5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、同年6月にはJR東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を、同年11月には阪神百貨店梅田本店に新ブランド「バニ」を出店するなど、計5店の出店を行いました。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「Now on Cheese♪（ナウオンチーズ）」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。</p>
<p>寿製菓・但馬寿</p>	<p>代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>交通拠点チャネルを重点に、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区は、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルや「京都ヴェネト」ブランドによる販売強化、福岡地区では「博多まっかな苺」ブランドの展開強化や新商品「博多万能ねぎ天ぷらえびせんべい」の拡販などに取り組みました。</p>
<p>九十九島グループ</p>	<p>製造小売型経営への変革を図るため、当社グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。また、10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイボリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストプディング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組みました。新規出店では、2023年10月にJR博多駅構内に新ブランド「アイム リリー」を出店、また、退店では2023年10月にアイボリッシュ福岡本店を閉店いたしました。</p>

売上原価・売上総利益

原材料価格の高騰が続く中、価格改定及び生産の効率化などにより売上総利益率は前年同期比2.1ポイント増加

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	35,370	—	47,036	—	11,666	33.0	50,155	—
材料費	7,721	21.8	10,964	23.3	3,243	42.0	10,754	21.4
労務費	3,267	9.2	3,962	8.4	695	21.3	4,454	8.9
製造経費	1,707	4.8	2,040	4.3	333	19.5	2,380	4.7
製造原価計	12,694	35.9	16,966	36.1	4,271	33.6	17,587	35.1
その他	1,534	4.3	941	2.0	△ 593	△ 38.6	2,461	4.9
売上原価合計	14,228	40.2	17,907	38.1	3,679	25.9	20,049	40.0
売上総利益	21,142	59.8	29,129	61.9	7,987	37.8	30,107	60.0

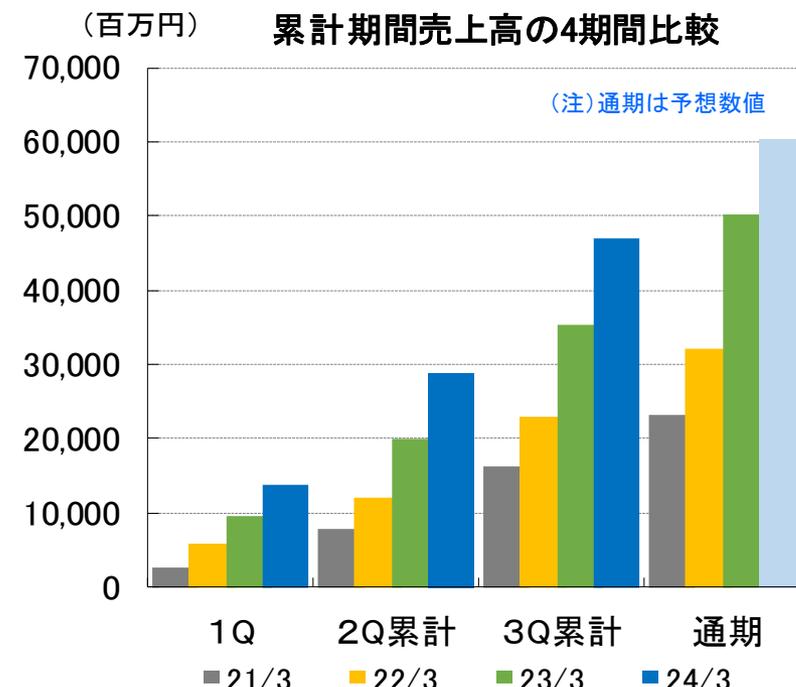
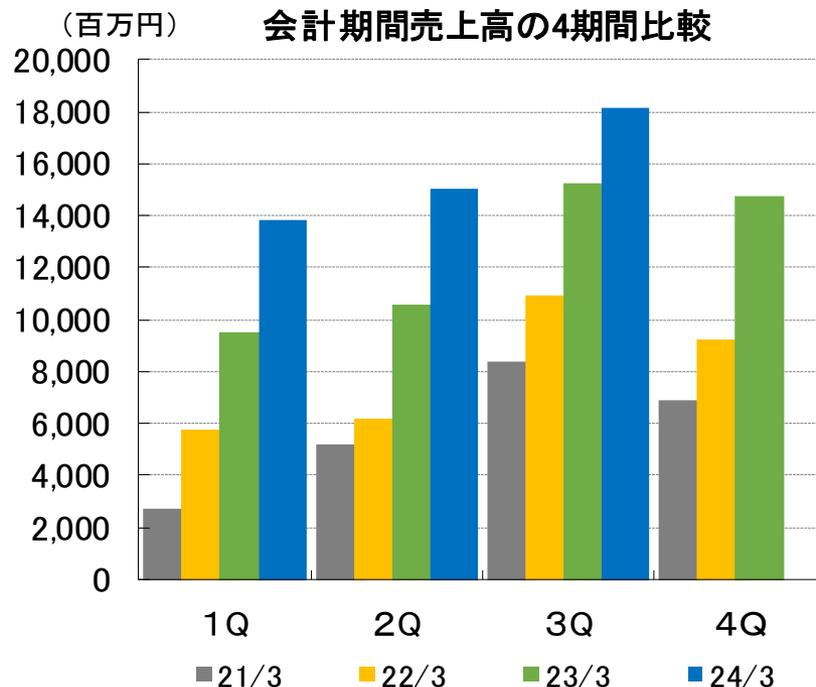
販売管理費・営業利益

売上成長及び販売の効率化などにより、
販売管理費率は、前年同期比3.4ポイント減少

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	21,142	59.8	29,129	61.9	7,987	37.8	30,107	60.0
人件費	5,408	15.3	6,434	13.7	1,026	19.0	7,432	14.8
販売促進費	2,089	5.9	2,737	5.8	648	31.0	3,012	6.0
運賃	1,104	3.1	1,519	3.2	416	37.7	1,580	3.1
広告宣伝費	260	0.7	256	0.5	△ 5	△ 1.8	395	0.8
地代家賃	970	2.7	1,061	2.3	91	9.4	1,314	2.6
減価償却費	297	0.8	312	0.7	15	5.0	407	0.8
旅費交通費	245	0.7	332	0.7	87	35.5	373	0.7
支払手数料	2,738	7.7	3,483	7.4	745	27.2	3,969	7.9
その他	1,175	3.3	1,262	2.7	87	7.4	1,672	3.3
販売管理費	14,285	40.4	17,395	37.0	3,109	21.8	20,155	40.2
営業利益	6,856	19.4	11,734	24.9	4,878	71.1	9,952	19.8

四半期業績の推移(売上高)

(3Q会計) 対前年同期比18.8%増

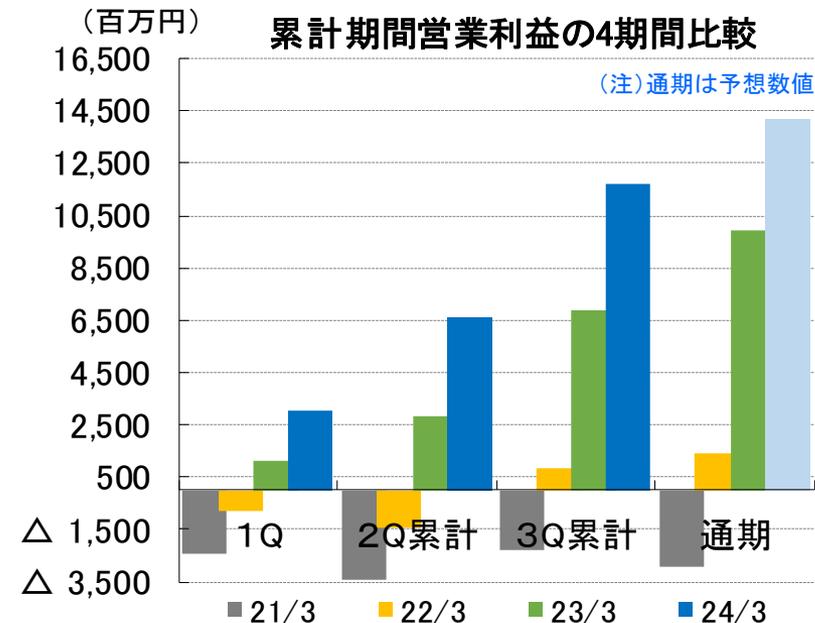
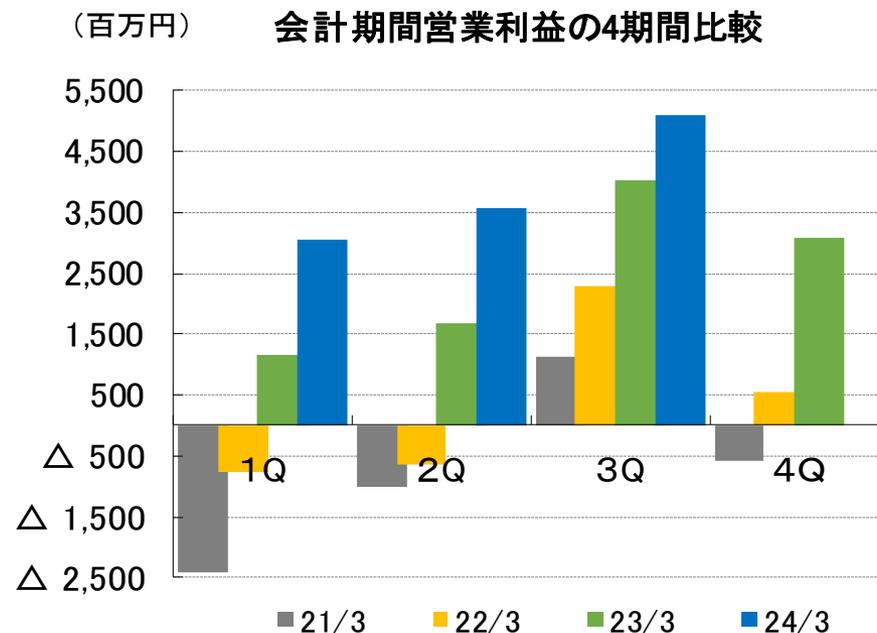


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	2,716	5,189	8,402	6,898	2,716	7,905	16,306	23,205
22/3	5,758	6,200	10,963	9,270	5,758	11,959	22,921	32,192
23/3	9,515	10,585	15,270	14,785	9,515	20,100	35,370	50,155
24/3	13,853	15,038	18,145	-	13,853	28,891	47,036	60,461
対前年	145.6%	142.1%	118.8%	-	145.6%	143.7%	133.0%	-

(注) 通期は予想数値

四半期業績の推移(営業利益)

(3Q会計) 対前年同期比27.0%増



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	△ 2,409	△ 1,012	1,114	△ 583	△ 2,409	△ 3,421	△ 2,307	△ 2,890
22/3	△ 759	△ 659	2,279	542	△ 759	△ 1,418	860	1,403
23/3	1,150	1,680	4,026	3,095	1,150	2,830	6,856	9,952
24/3	3,059	3,564	5,112		3,059	6,622	11,734	14,192
対前年	265.9%	212.1%	127.0%		265.9%	234.0%	171.1%	

(注) 通期は予想数値

貸借対照表

流動資産の増加は、主に売掛債権及び棚卸資産の増加によるもの

(百万円、%)	22年3月期		23年3月期		24年3月期(3Q)		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	15,804	57.5	25,741	69.7	30,828	72.1	5,087	19.8
固定資産	11,666	42.5	11,212	30.3	11,919	27.9	707	6.3
資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	42,747	100.0	5,794	15.7
流動負債	4,620	16.8	8,095	21.9	8,054	18.8	△ 42	△ 0.5
固定負債	2,493	9.1	2,340	6.3	2,428	5.7	88	3.8
負債合計	7,114	25.9	10,436	28.2	10,482	24.5	46	0.4
純資産	20,357	74.1	26,518	71.8	32,265	75.5	5,748	21.7
負債純資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	42,747	100.0	5,794	15.7
BPS(円)(注)	130.83		170.43		207.37		36.94	21.7
設備投資額	403		573		1,416		843	147.1
減価償却費	1,220		1,137		836		△ 301	△ 26.5

(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。
BPS数値につきましては、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。



2024年3月期 通期業績予想

(2023年11月1日に公表した業績予想から変更はありません。)

2024年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高前期比20.5%増、営業利益同42.6%増

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	50,155	-	60,461	-	10,306	20.5
売上総利益	30,107	60.0	37,112	61.4	7,005	23.3
販売管理費	20,155	40.2	22,920	37.9	2,765	13.7
営業利益	9,952	19.8	14,192	23.5	4,240	42.6
経常利益	10,296	20.5	14,263	23.6	3,967	38.5
当期純利益	7,018	14.0	9,560	15.8	2,542	36.2
EPS(円)(注)	45.10		61.44		16.3	-
1株当たり配当金(円)(注)	14.00		25.00		11.0	-
設備投資	573		2,000		1,427	249.1
減価償却費	1,137		1,250		113	9.9

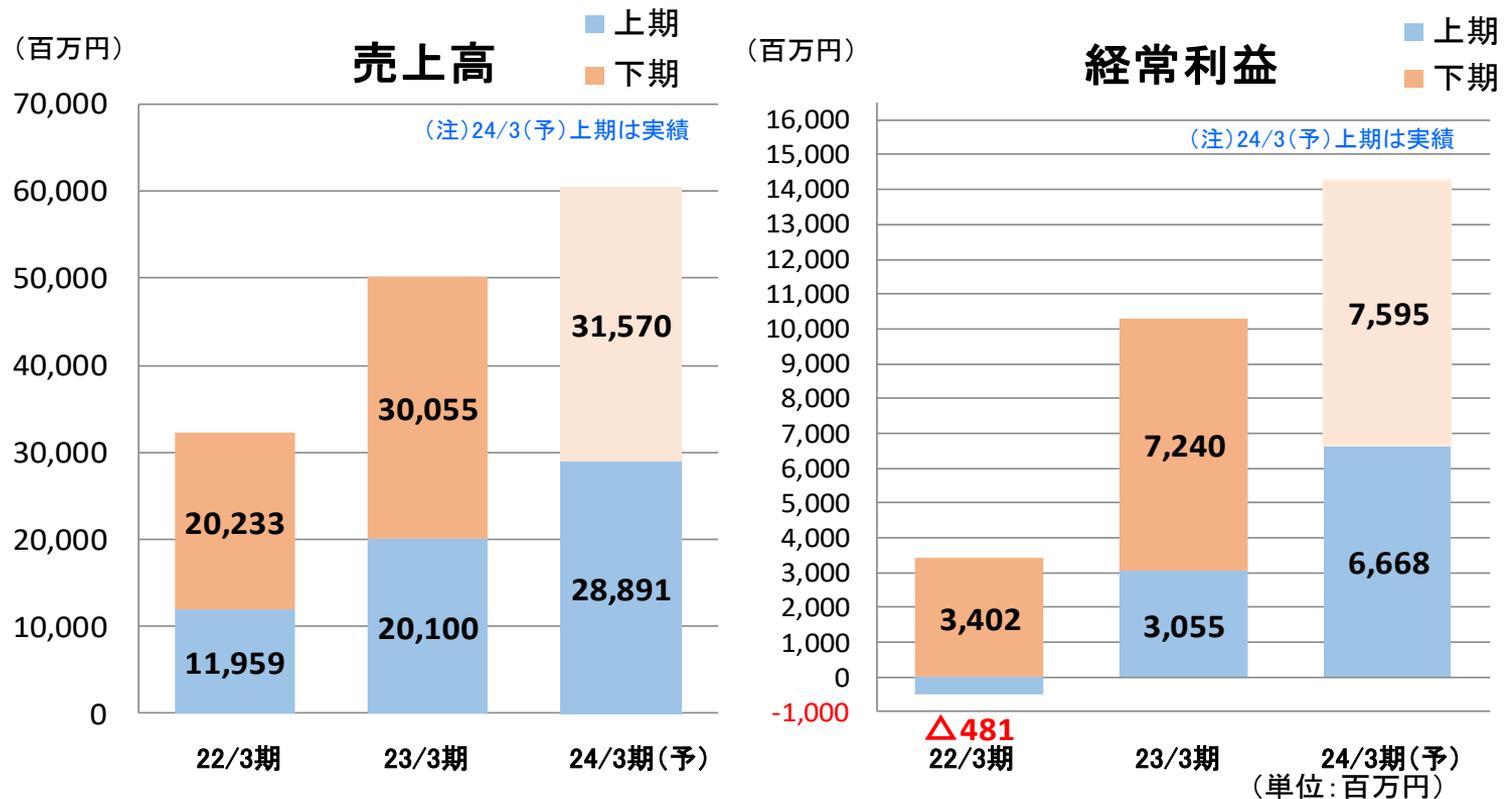
(注) EPS数値及び1株当たり配当金は、2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

2024年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイを筆頭に、主要セグメントで増収・増益を目指す！

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	23/3期	24/3期予	増減額	増減率	23/3期	24/3期予	増減額
シュクレイ	20,699	25,736	5,037	24.3	4,144	5,750	1,606
ケイシイシイ	14,114	16,580	2,466	17.5	2,113	3,097	984
寿製菓・但馬寿	10,042	11,985	1,943	19.3	1,694	2,447	753
販売子会社	5,354	6,463	1,109	20.7	472	768	296
九十九島グループ	4,628	5,701	1,073	23.2	366	722	357
その他	734	710	△ 24	△ 3.3	97	96	△ 2
セグメント計	55,570	67,175	11,605	20.9	8,887	12,881	3,994
調整額	△ 5,415	△ 6,714	△ 1,299	24.0	1,065	1,311	246
合計	50,155	60,461	10,306	20.5	9,952	14,192	4,240

2024年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



	売上高						経常利益					
	22/3期	構成比	23/3期	構成比	24/3期(予)	構成比	22/3期	構成比	23/3期	構成比	24/3期(予)	構成比
上期	11,959	37.1%	20,100	40.1%	28,891	47.8%	△ 481	-	3,055	29.7%	6,668	46.8%
下期	20,233	62.9%	30,055	59.9%	31,570	52.2%	3,402	-	7,240	70.3%	7,595	53.2%
通期	32,192	100.0%	50,155	100.0%	60,461	100.0%	2,921	-	10,296	100.0%	14,263	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

当社グループの経営理念は、創業者であります故河越庄市をはじめ、諸先輩方が幾多の試練を乗り越えてこられた中、生まれました。利潤の追求のみが企業の目的ではなく、会社が未来永劫発展し続けるためには、常に「人様に喜んでいただく」ことを最優先に考え、お客様に喜んでいただける商品を創り、お客様に喜ばれるサービスを提供し続け、地域社会への貢献、共存・共栄こそが、会社の存在意義であり、当社グループに与えられた使命であります。

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

当社グループの全従業員は、経営理念の具現化に向け、ひとつのお菓子、ひとりのお客様への接客で、一生お付き合いができる熱狂的なファンを今日一人創ることに徹する「熱狂的ファン創り」を基本ポリシーとしております。

経営理念をベースとした「**全員参画による超現場主義経営**」の実践

当社グループは、経営理念を拠り所に、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画による超現場主義経営**」の実践により、活力ある魅力あふれる企業集団を創り、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

《経営理念手帳「こづち」について》

当社グループは、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、全従業員の経営理念浸透と企業倫理の徹底に努めております。経営理念手帳「こづち」は、各職場単位で行う朝礼や研修、勉強会などで活用し、また、経営理念の実践の成果を全従業員が共有し、さらなる大きな成果を生み出していくことを目的に「こづち発表全国大会」を年1回開催しております。



2024年1月「こづち発表全国大会」を開催

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- **「高い価値の創造」**をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「地域性(Local)」と「専門店性(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアムギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2024年経営スローガン

超絶マツハ経営！

当社グループは、美味しさをより一層追求したプレミアムギフトスイーツに特化し、すべての基準で早さと速さにこだわり事業施策を遂行する。

重点施策

1.Value Up Everyday

- ①美味しさを一番に、商品力のValue Up
- ②独自の販売手法に磨きをかけて、販売力のValue Up
- ③ブランドの世界観を最大限に伝える売場力のValue Up
- ④新ブランド、新売場、新商品そして人財力のValue Up

2.「少数精鋭主義」による高賃金低人件費比率の実現

少数精鋭による人員配置の最適化により、部門採算の更なる高利益化を目指す！

今後の経営方針

中長期の目標

長期目標

売上高経常利益率 30%

「全員参画による超現場主義」経営を推進し、プレミアムギフトスイーツの更なる「高い価値の創造」に注力していく

中期目標

① シュクレイ売上高 350億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)	26年3月期(目標)
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	25,736	35,000

② インバウンド売上高 100億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)	26年3月期(目標)
売上高	5,375	98	125	1,978	-	10,000

※インバウンド売上高は、国際線ターミナル免税売上高となります。

セグメント別概況

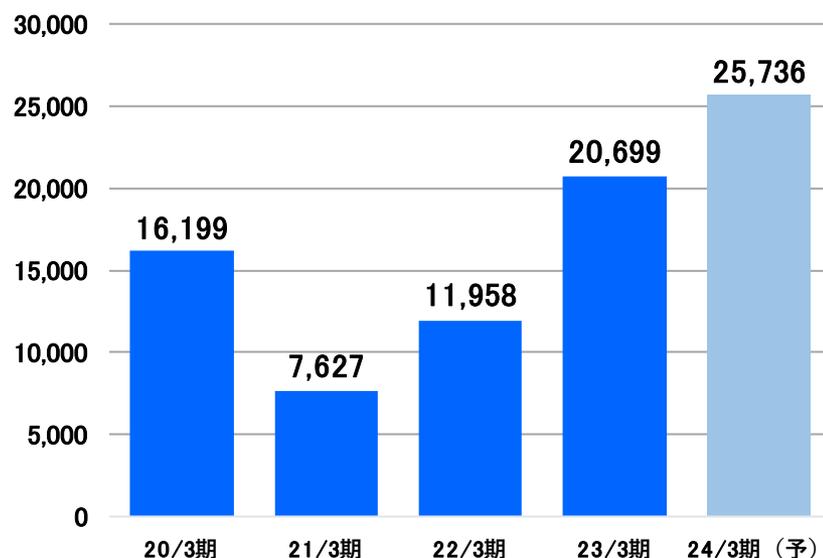


- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- くじゅうくしま 九十九島グループ
- その他

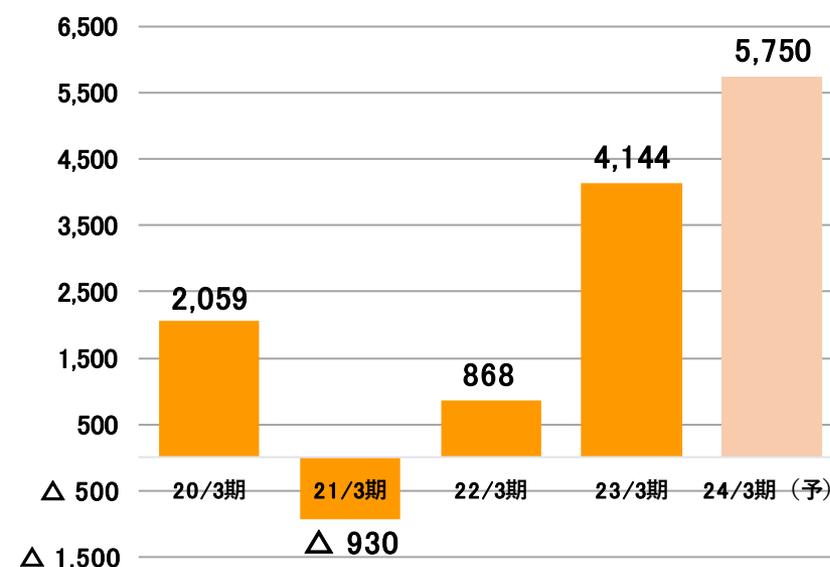
《シュクレイ》

24/3期予想:売上高 **25,736**百万円(前期比+24.3%)営業利益 **5,750**百万円(同+38.8%)

売上高



営業利益



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	8,741	73.1	25,736	5,038	24.3
売上総利益	9,893	4,198	7,271	13,160	5,890	81.0	16,495	3,335	25.3
粗利率	61.1	55.0	60.8	63.6	2.8	-	64.1	0.5	-
販売管理費	7,834	5,128	6,402	9,016	2,614	40.8	10,744	1,728	19.2
営業利益	2,059	Δ 930	868	4,144	3,276	377.2	5,750	1,606	38.8

《シュクレイ》

現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、
2026年3月期 売上高350億円突破に向け、成長を加速させる



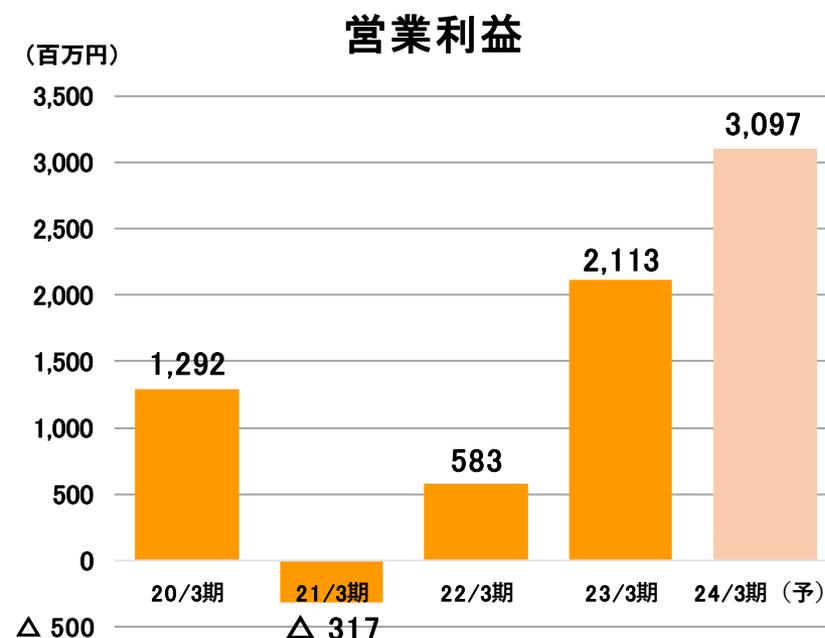
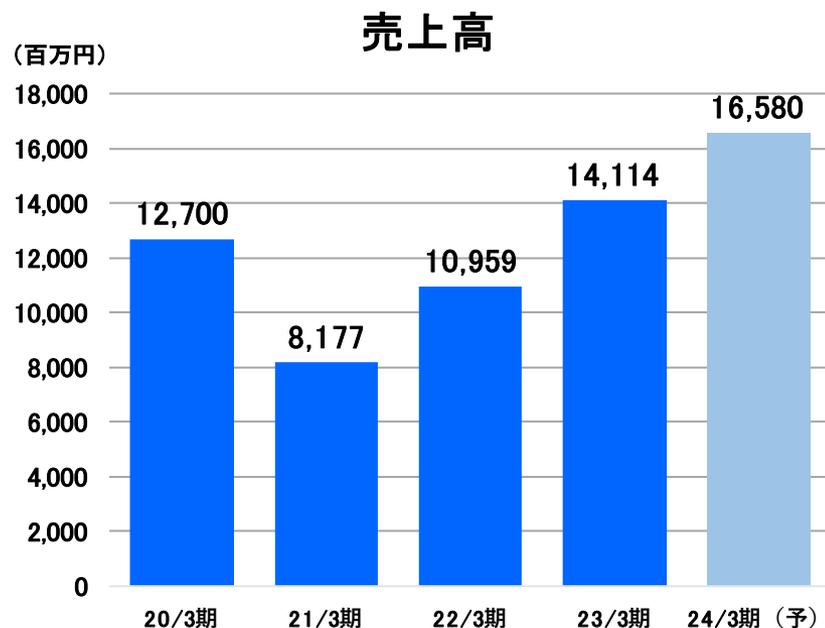
フランセ ベリーナッツミルフィユ



コートクール 東京ブラウニー

《ケイシイシイ》

24/3期予想:売上高 **16,580**百万円(前期比**+17.5%**)営業利益 **3,097**百万円(同**+46.5%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	12,700	8,177	10,959	14,114	3,155	28.8	16,580	2,467	17.5
売上総利益	7,758	4,806	5,908	8,149	2,241	37.9	9,846	1,697	20.8
粗利率	61.1	58.8	53.9	57.7	3.8	-	59.4	1.6	-
販売管理費	6,466	5,123	5,325	6,036	710	13.3	6,749	714	11.8
営業利益	1,292	△ 317	583	2,113	1,531	262.7	3,097	984	46.5

《ケイシイシイ》

25周年を迎えた小樽洋菓子舗LeTAOの更なるブランド価値の向上及び
「PISTA&TOKYO」、「Now on Cheese ♪」、「岡田謹製あんバター屋」などの
首都圏ブランドの育成に注力



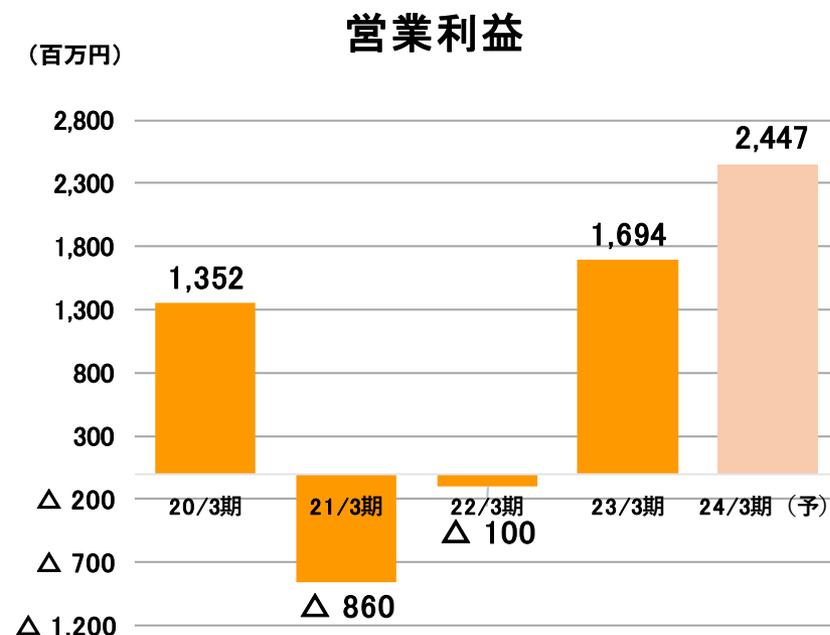
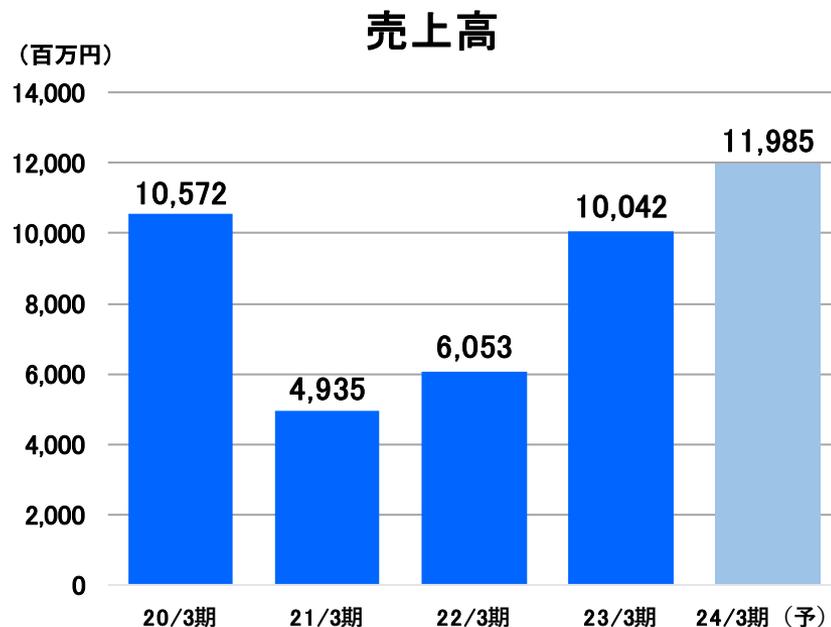
小樽洋菓子舗ルタオ ショコラポン



小樽洋菓子舗ルタオ ショコラオレノワゼットドゥーブル

《寿製菓・但馬寿》

24/3期予想:売上高 **11,985**百万円(前期比**+19.4%**)営業利益 **2,447**百万円(前期比**+44.4%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,572	4,935	6,053	10,042	3,989	65.9	11,985	1,943	19.4
売上総利益	4,199	969	1,774	3,953	2,179	122.8	4,903	951	24.1
粗利率	39.7	19.6	29.3	39.4	10.1	-	40.9	1.6	-
販売管理費	2,847	1,829	1,874	2,258	384	20.5	2,456	198	8.8
営業利益	1,352	Δ 860	Δ 100	1,694	1,795	-	2,447	753	44.4

《寿製菓・但馬寿》

焱
KÄnoZA
IZUMO

山形
名産
因幡の白うさぎ
寿製菓株式会社

主力商品の育成及び新商品開発の推進、代理店との連携強化を図る



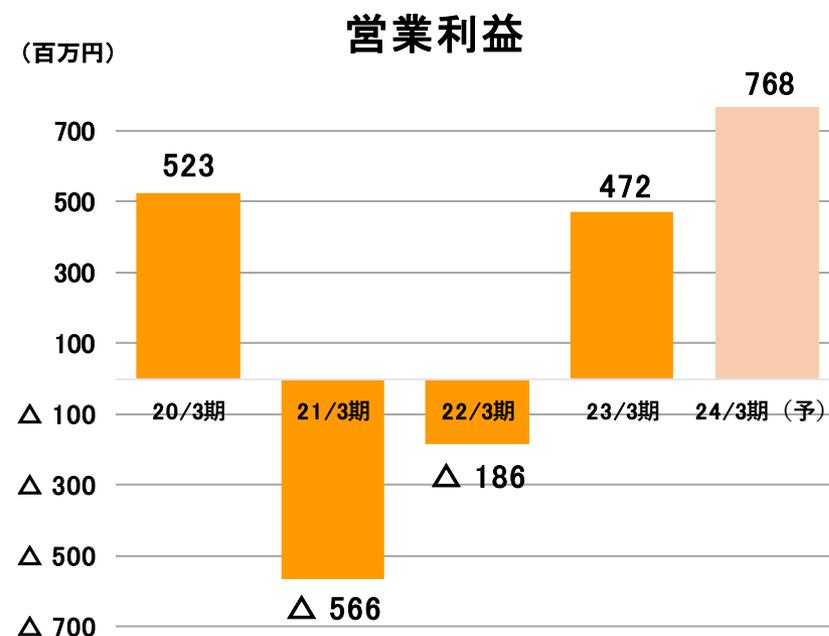
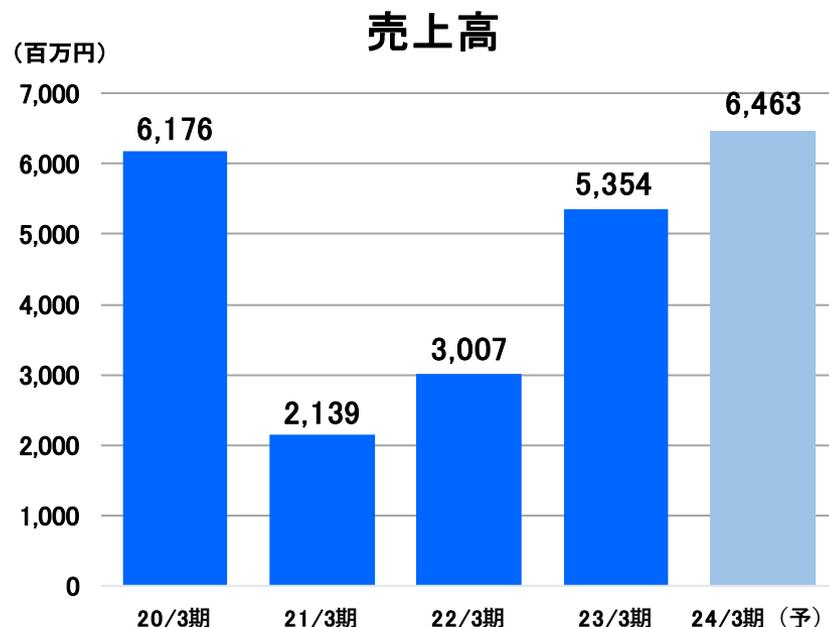
KÄnoZA ショコラフォンデュ



因幡の白うさぎチョコレート

《販売子会社》

24/3期予想:売上高 **6,463**百万円(前期比**+20.7%**)営業利益 **768**百万円(前期比**+62.8%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	6,176	2,139	3,007	5,354	2,347	78.1	6,463	1,109	20.7
売上総利益	2,224	625	1,098	2,013	915	83.3	2,426	413	20.5
粗利率	36.0	29.2	36.5	37.6	1.1	-	37.5	Δ 0.1	-
販売管理費	1,700	1,191	1,284	1,541	257	20.0	1,658	117	7.6
営業利益	523	Δ 566	Δ 186	472	658	-	768	296	62.8



KYOTO VENETO
MEETING FROM ITALY TO KYOTO

《販売子会社》

主要交通拠点チャンネルを中心に新商品での新売場獲得、
主力商品での売場面積拡大に注力



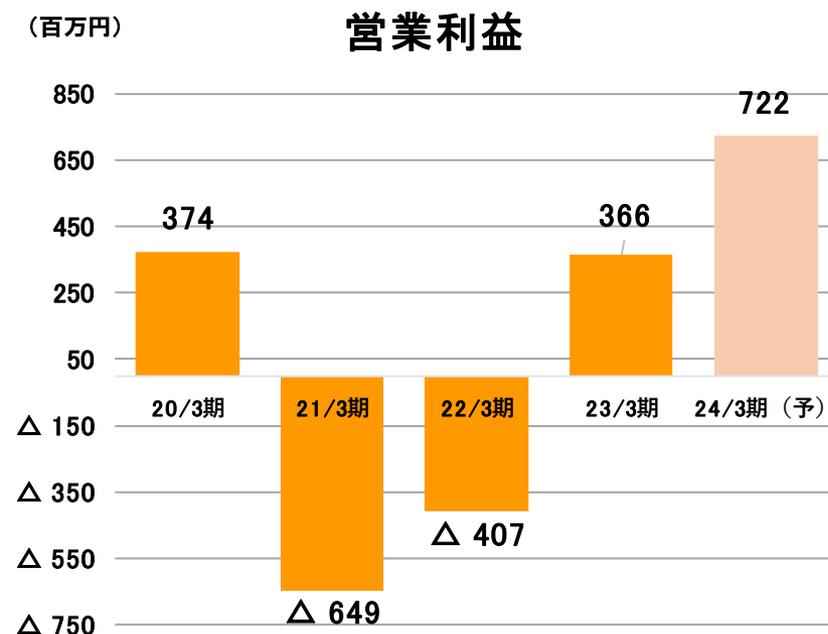
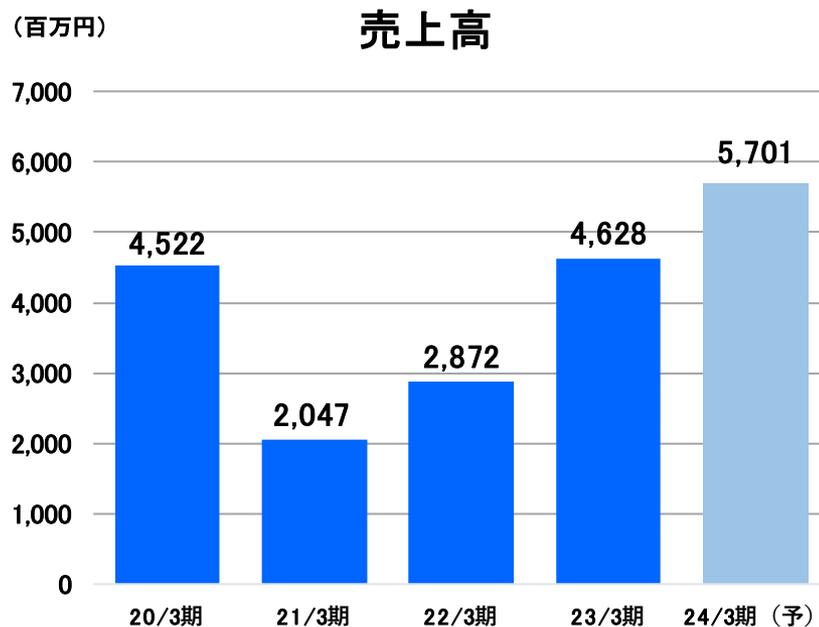
京都ヴェネト 生チーズケーキ ジェミニ



京都ヴェネト 京都 宇治抹茶 生チーズロール

くじゅうくしま 《九十九島グループ》

24/3期予想:売上高 **5,701**百万円(前期比+23.2%)営業利益 **722**百万円(前期比+97.6%)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,522	2,047	2,872	4,628	1,756	61.1	5,701	1,073	23.2
売上総利益	2,127	650	1,241	2,427	1,186	95.5	3,035	608	25.1
粗利率	47.0	31.8	43.2	52.4	9.2	-	53.2	0.8	-
販売管理費	1,753	1,300	1,648	2,061	414	25.1	2,313	252	12.2
営業利益	374	Δ 649	Δ 407	366	772	-	722	357	97.6

nuts and butter sweets

くじゅうくしま 《九十九島グループ》 MISTER CAMELIST I'm LILY HAKATA

グループのシナジーを最大限に活用し、組織改革を断行、現場中心の製造小売型経営
に変革し成長を目指す



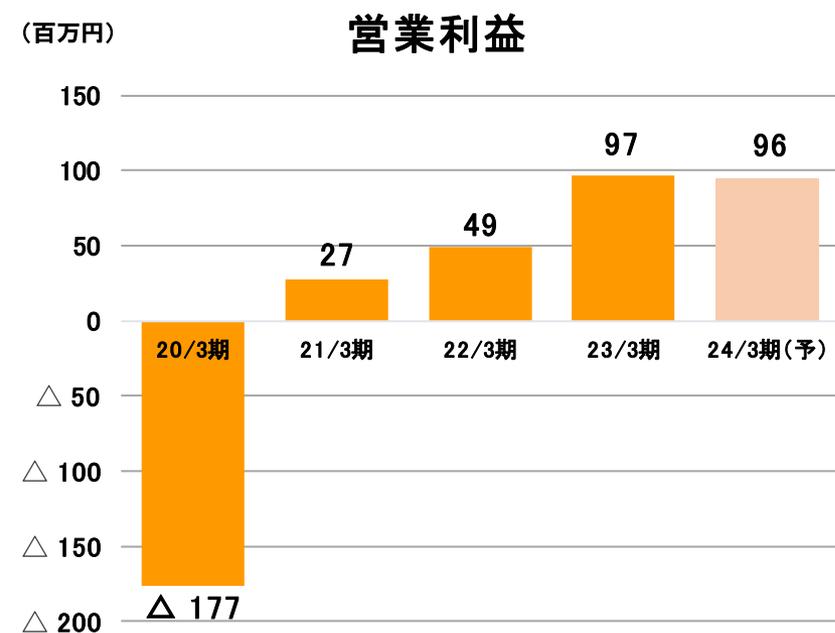
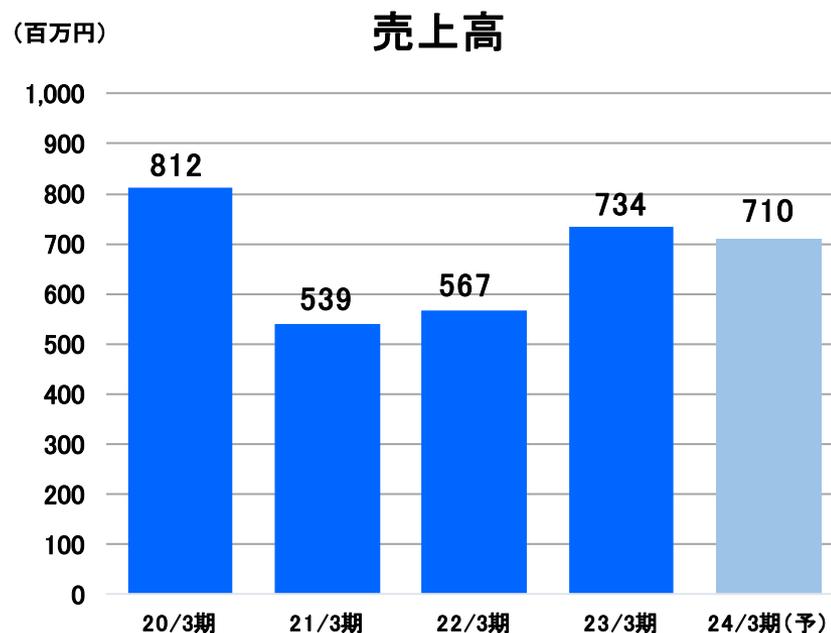
ミスターキャラメリスト ポーラーハット



I'm LILLY ショコラサンドクッキー

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

24/3期予想:売上高 **710**百万円(前期比 $\Delta 3.3\%$)営業利益 **96**百万円(同 $\Delta 1.7\%$)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	812	539	567	734	167	29.5	710	$\Delta 24$	$\Delta 3.3$
売上総利益	529	383	411	534	123	30.0	505	$\Delta 30$	$\Delta 5.5$
粗利率	65.1	71.1	72.5	72.8	0.3	-	71.1	$\Delta 1.7$	-
販売管理費	706	356	362	437	75	20.7	409	$\Delta 28$	$\Delta 6.4$
営業利益	$\Delta 177$	27	49	97	48	98.9	96	$\Delta 2$	$\Delta 1.7$

《その他》

台湾菓子事業



東京ミルクチーズ工場 台湾限定商品



ザ・メイプルマニア 台湾限定商品

純藍

健康食品事業(純藍事業)



古来伝承素材「藍」を100%配合した健康茶『純藍茶』



ESG関連情報

ESG情報(サステナビリティ委員会の設置及びTCFD提言への賛同表明)

当社は、当社グループが様々な事業活動を推進していくうえで、持続可能な社会実現への貢献と中長期的な企業価値の向上が重要な経営課題であるとの認識のもと、サステナビリティにおける取組みを推進するため、2023年4月に「サステナビリティ委員会」を設置し、また、同月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明いたしました。当委員会の設置及びTCFD提言への賛同を機に、気候変動がもたらす事業へのリスクと機会について、分析と対応を一層強化し、関連情報の開示を推進していくとともに、2050年の脱炭素社会実現に貢献する取組みを進めてまいります。



寿スピリッツグループ
サステナビリティサイト



※TCFDの概要

TCFDとは、G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討する目的で設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」の略称です。TCFDが公表した提言では、企業等に対し、気候変動関連リスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の把握・開示が推奨されています。

こちらのQRコードでご覧いただけます

ESG情報(ケイシイシイ第1工場 FSSC22000認証取得)

ケイシイシイ第1工場が、2023年9月1日に当社グループの製造拠点として、ケイシイシイ第2工場、シュクレイ横浜工場・浜松工場につづいて、4拠点目となるFSSC22000認証を取得しました。お客様に喜ばれる安心安全な商品を提供するため、品質向上活動を継続してまいります。



ケイシイシイ第1工場外観

※FSSC 22000は、ISO 22000を追加要求事項で補強した食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。GFSI(Global Food Safety Initiative)によって、ベンチマーク規格の一つとして承認されています。



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2023年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株(注)

■発行済株式総数 31,121,520株(注)

■単元株式数 100株

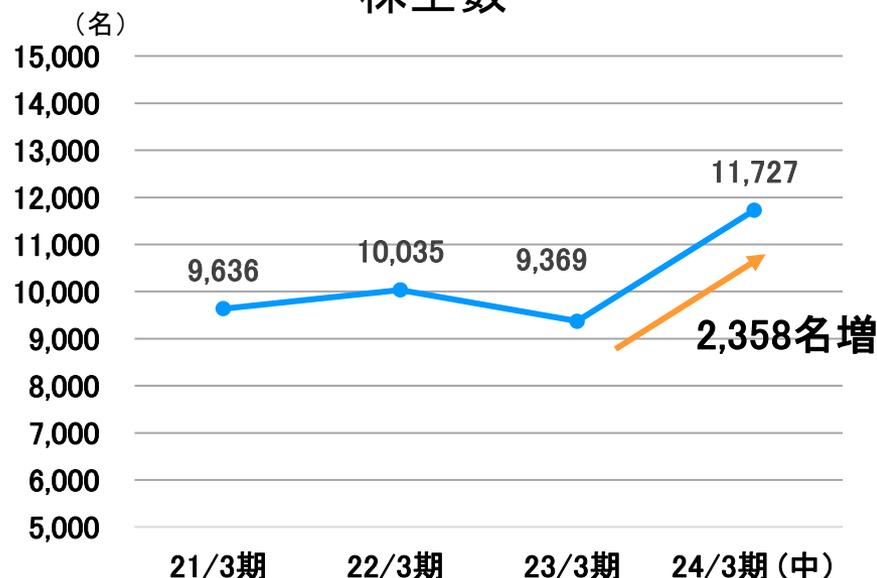
■株主数 11,727名(対前期末比 2,358名増)

(注)2023年10月1日付で株式分割を実施しており、発行可能株式総数は、456,000,000株、発行済株式総数は、155,607,600株となっております。

■大株主(上位5位)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,100,000	29.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,088,100	9.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,832,600	5.89
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	701,000	2.25

株主数



(注)出資比率は、自己株式2,414株を除く

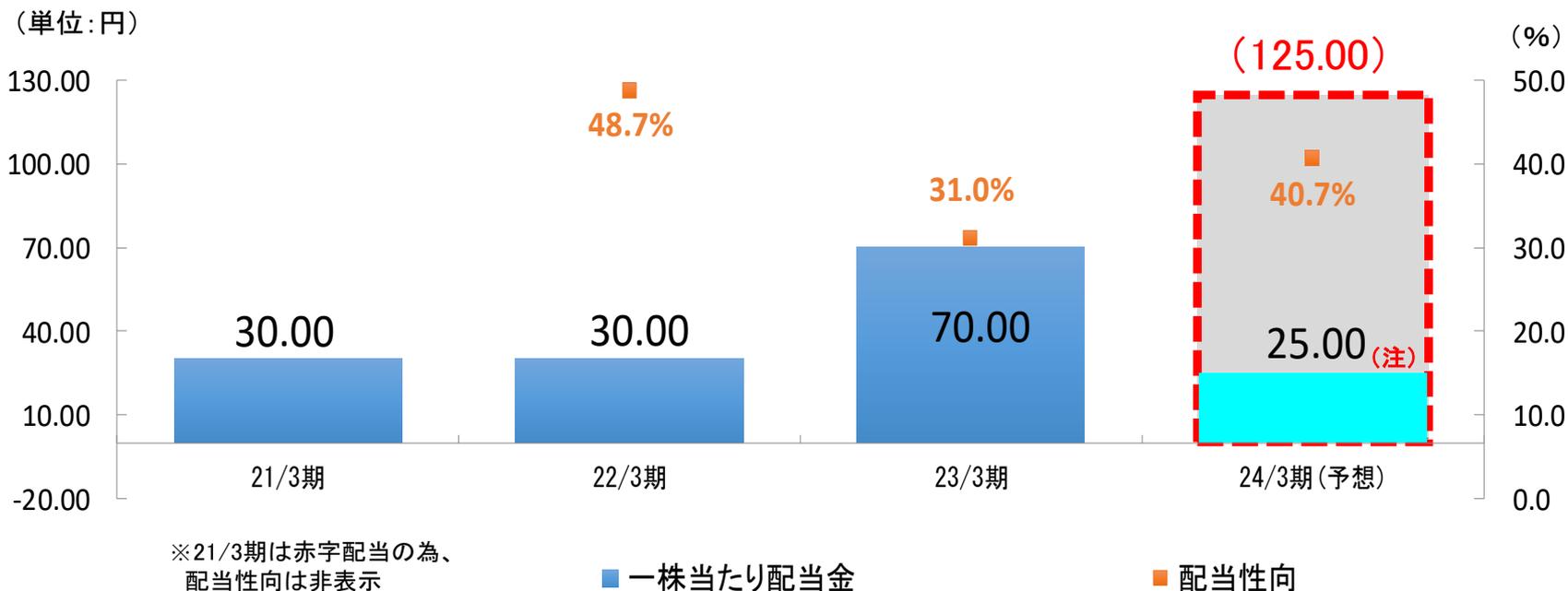
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2024年3月期1株当たり配当金予想 25円(注)

一株当たり配当金・配当性向推移



(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。24/3期の一株当たり配当金予想は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に換算すると予想配当額は、1株当たり125円となります。

株主優待制度について

株式分割に伴い、分割後の株主優待制度の見直しを図り、2024年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より変更後の制度を適用いたします。

現行		変更後	
ご所有株式数	内容	ご所有株式数	内容
100株以上 500株未満	2,000円相当のグループ製品	100株以上	3,000円相当のグループ製品
500株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品		
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 ＋ 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)		



《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証プライム)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体8名・連結1,658名
グループ会社	連結子会社17社(国内16社・海外1社)
連結売上高	501億円(2023年3月期)

2023年12月31日現在

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に **株式会社つきじちとせ**を設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に**株式会社ケイセイシイ**が『**小樽洋菓子舗ルタオ**』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、**株式会社九十九島グループ**スタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に**株式会社シュクレイ**を設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に**純藍株式会社**を設立。
- 2016年1月 (平成28年) **株式会社フランセ**の全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) **株式会社シュクレイ**が**株式会社フランセ**を吸収合併。
- 2022年4月 (令和4年) 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行。



小樽洋菓子舗ルタオ



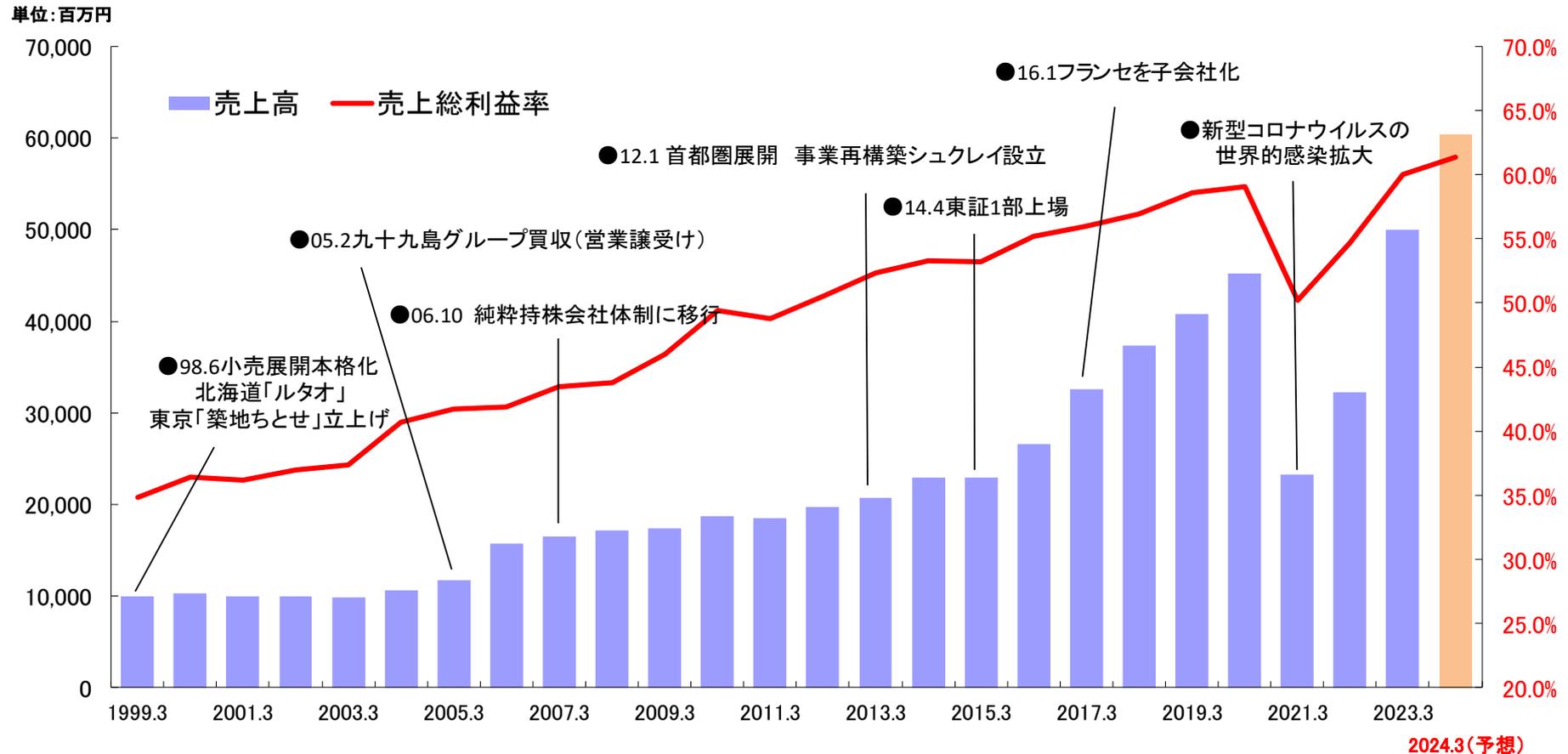
“九十九島せんぺい”



洋菓子のフランセ

寿スピリッツグループの変遷①

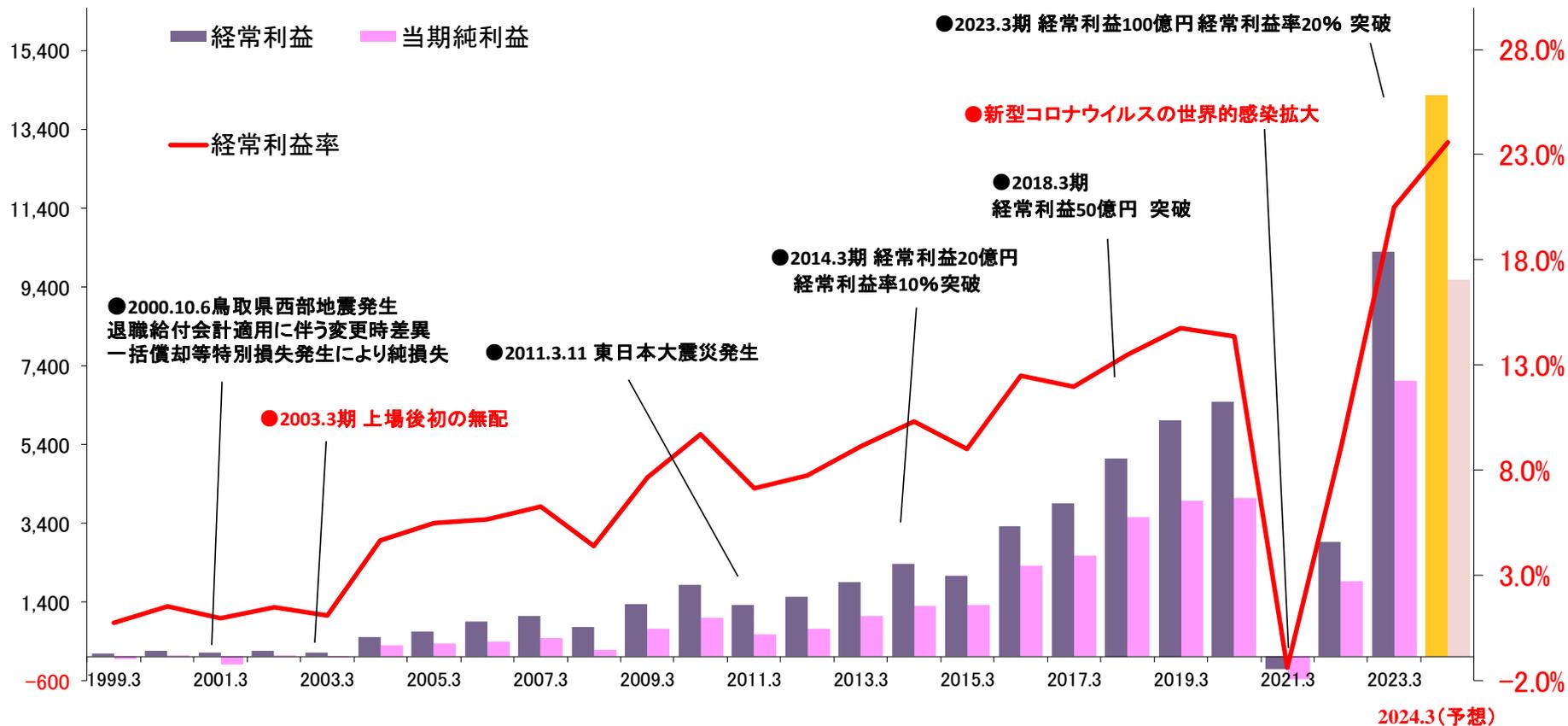
2023年3月期 売上高500億円、売上総利益率60%突破



寿スピリッツグループの変遷②

2023年3月期 経常利益100億円 経常利益率20%突破

単位：百万円



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(福岡・東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



(東京)



(東京)



(東京)



(北海道)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



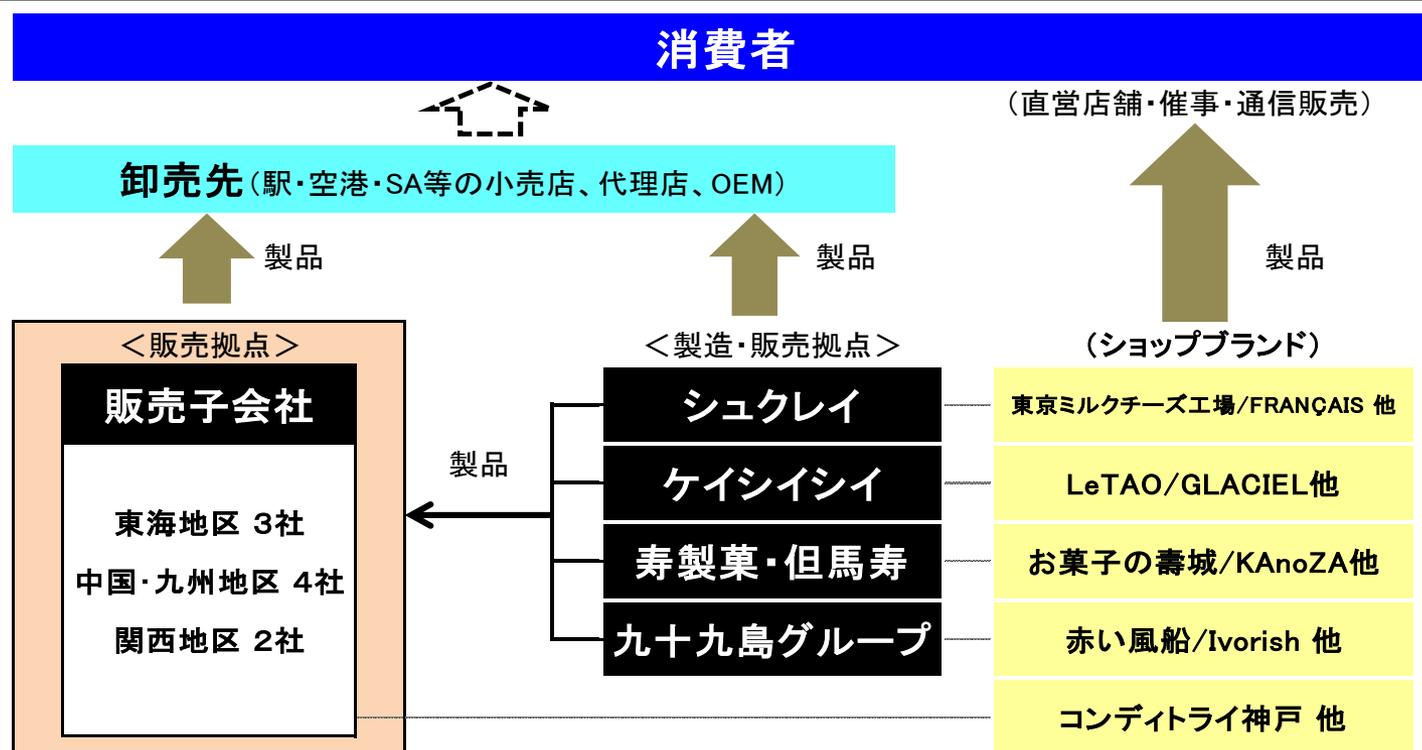
「九十九島せんぺい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。

グループ生産体制



本社工場



浦津工場



淀江工場(お菓子の壽城)



第1工場



第2工場



但馬工場



寿製菓

- 本社工場
- 浦津工場
- 淀江工場
- 但馬工場

※全工場でISO22000取得



ケイセイシイ

第1工場 FSSC22000認証取得

第2工場 FSSC22000認証取得
(AIBフードセーフティー監査システム導入)



福岡工場



本社工場



福浦工場



浜松工場



黒髪工場



九十九島グループ

- 福岡工場
- 本社工場

黒髪工場 ※全工場でJICQA仕様-HACCPシステム認証取得



シュクレイ

横浜工場
浜松工場 ※全工場でFSSC22000認証取得





熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語です。

《寿スピリッツ》

●「こづち発表全国大会」「総決起大会」開催

2024年1月23日、鳥取県米子市コンベンションセンターにて、寿スピリッツグループ「こづち発表全国大会」「総決起大会」を開催。グループが一致団結して来期も目標突破を誓い合いました。





《寿製菓》

- 第50回がいな祭り 寿女万灯隊 おんな万灯の部 準優勝。 個人戦では最優秀賞を受賞
2023年8月19日・20日米子の夏を象徴する“がいな祭り”の目玉である万灯パレードに出場
万灯女子の魅せる迫力の演技は、社内外の熱狂的ファン創りにつながった



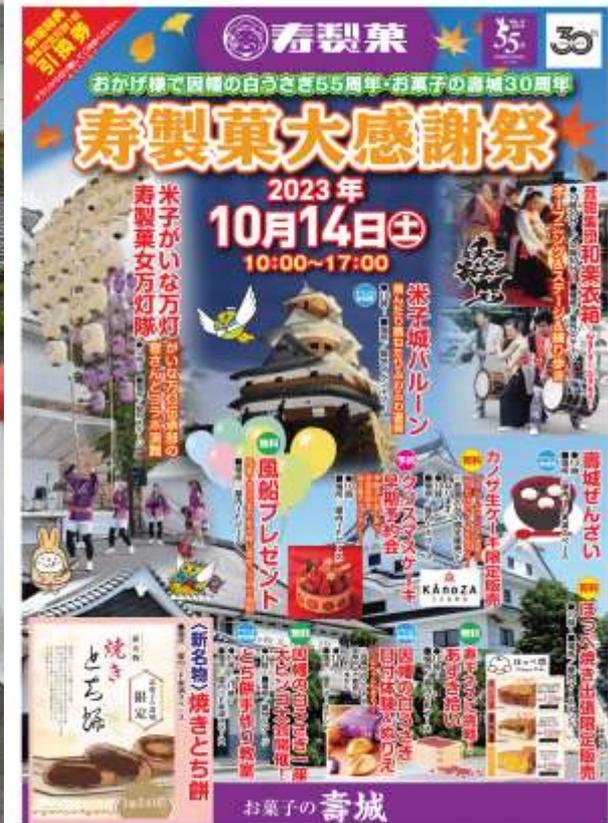


《寿製菓》

●寿製菓大感謝祭～おかげ様で因幡の白うさぎ55周年・お菓子の壽城30周年～

寿製菓は、2023年10月14日お菓子の壽城にて「寿製菓大感謝祭」を開催しました。

地元のお客様に向けた様々な催し物を用意し、多くのお客様にご来城いただきました。



《但馬寿》

●但馬寿の地域貢献活動

「遊月亭」「おばあかふえ」を運営する但馬寿は、地元小学校へへの出前授業の実施や、各種イベントでオリジナルご当地ソングを披露するなど地域貢献活動に力を入れています。



養父市高齢者福祉大会でのオープニングアトラクション



養父市立高柳小学校の授業参観にて サプライズ講師

《ケイシイシイ》



●小樽洋菓子舗ルタオ25周年

2023年6月に25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」は、記念菓「フロマージュ」を発売、また、25年分の感謝を込めて顧客やお取引先様を招いたイベントを開催。パトス店はリニューアルを行い50周年に向けて再出発しました。



顧客向け感謝祭の様子



お取引先様向け感謝祭の様子



感謝祭で提供したスイーツ



2023年4月1日
ルタオ パトス店 リニューアル

《ケイシイシイ》



●ケイシイシイが「大運動会in札幌ドーム」を開催

2023年8月30日、札幌ドームで大運動会を開催。総勢約300名が一堂に集まり、4チームに分かれて7つの競技プログラムを実施。全員が一つの目標に向かうことで一致団結しました。



《シュクレイ》

●シュクレイが東京駅売上ランキングで上位独占！

「2023年新商品 東京駅限定手土産 スイーツ売上ランキング」が2023年11月22日に発表され1～3位をシュクレイが独占。1位は、「ザ・メープルマニア」のメープルクッキー詰め合わせ缶が受賞。



【第1位】ザ・メープルマニア
メープルクッキー詰め合わせ缶



【第2位】THE DROS(ザ・ドロス)
フィナンシェ(カマンベール&レモン) 5個入



【第3位】ミスターメープルbyザ・メープルマニア
メープルラムケーキ

《九十九島グループ》

●マイングNo.1“通”のお土産決定戦2023年 洋菓子部門にて5回連続1位を受賞

2023年9月、マイング“No.1”通のお土産決定戦2023年洋菓子部門にて、「赤い風船」の「フォンダンフロマージュ」が5年連続で1位を獲得。同様に「BUTTER&Bee」の「バターフィナンシェ」が3回目のエントリーで初の3位獲得となりました。

